

ISPAC 2017での経験



目で見ると
海外論文発表

喜多悠二*

My experience in ISPAC 2017

Key Words : organometallics, indium, isocoumarin

<参加会議名> International Symposium on Pure & Applied Chemistry (ISPAC) 2017

<開催場所> Ho Chi Minh City, Vietnam

<渡航期間> 2017年6月7日ー2017年6月10日

<発表タイトル>

Synthesis of Isocoumarins by Intramolecular Oxy-metalation of Alkynes

6月8日から6月10日の3日間、ベトナムのホーチミン市のホテルコンチネンタルサイゴンで開催された International Symposium on Pure & Applied Chemistry (ISPAC) 2017に参加しました。本学会は純粋化学と応用化学の全領域に焦点を当てているため、幅広い分野の研究者たちが集い、意見交換ができる貴重な学会です。

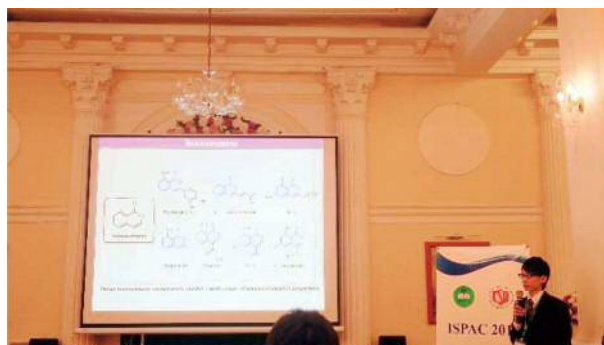
ISPAC2017では4つの会場を用いて、会場ごとに異なる分野の研究発表が行われました。著名な先生方も含めたほとんどの研究発表が15～25分と短時間であったため、3日間の短期間でありながら、質と量ともに充実した学会でした。専門分野だけでなく、異分野の最近の研究事情にも触れた結果、自身の研究に役立つ多くの知見を得ることができました。

本学会で私は口頭での研究発表を行いました。海外での口頭発表は初めてで、とても緊張しましたが、

先生方から英語発表のご指導をいただいたおかげで、満足のいく発表を行えました。質疑応答時にはたくさんの方の質問をいただき、今後の研究方針に関して貴重な意見も頂戴しました。

本学会での経験を通じて、様々な分野の化学に関する知識を持つことの大事さを実感しました。また、英語学習の意欲も大きく向上しました。今後の研究活動において、本学会での経験は大いに役立つと確信しています。

最後になりましたが、本学会に参加するにあたって、海外論文発表奨励事業に採択していただき、経済的な支援をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。



口頭発表の様子



昼休みの会場の様子



研究者交流 1



研究者交流 2



* Yuji KITA

1991年10月生

大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻 (2016年)

現在、大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻安田研究室

学生 (博士後期課程2年) 工学修士 有機金属化学

TEL : 06-6879-7386

FAX : 06-6879-7387

E-mail : y_kita@chem.eng.osaka-u.ac.jp